



アジア太平洋地球変動研究ネットワーク(APN)主催 フォーラム

2021 持続可能な開発のための
2030 国連海洋科学の10年

気候変動と海洋環境の未来

～持続可能な海をめざして～

私たちの暮らしと密接に関わる海。
気候変動の影響が広がる今、海洋環境を守るために何ができるのでしょうか？
本フォーラムでは、「持続可能な海」をテーマに、
国内外の研究者が最新の海洋環境の現状や具体的な取組について講演します。
最前線の知見を学び、未来の海を守るためのヒントを見つけませんか？
皆さまのご参加をお待ちしています！

日時 令和7年3月18日(火) 14時00分～16時30分

会場 国際健康開発センター (IHDビル)
9階 国際会議室 (神戸市中央区脇浜海岸通1-5-1)

開催方法 ハイブリッド (会場・オンライン)

参加費無料

定員 60名(会場) 300名(オンライン)
(先着順)

日英同時通訳

プログラム

〈第一部〉

基調講演

『海洋環境問題の現状とデジタルツインによる戦略的アプローチ』

内山 雄介

神戸大学大学院工学研究科 教授

〈第二部〉

海外研究
講演

『北太平洋におけるプラスチック汚染の長期モニタリング』

スーザン・M・ブランダー

オレゴン州立大学農学部 准教授

海外研究
講演

『太平洋島しょ地域における魚のマイクロプラスチック汚染の
評価とプラスチック汚染に対する地域住民の認識』

アマンド・フォード

サウスパシフィック大学海洋科学科 上級講師

後援：兵庫県、公益財団法人ひょうご環境創造協会
公益財団法人国際エメックスセンター

APN
ASIA-PACIFIC NETWORK FOR
GLOBAL CHANGE RESEARCH

登壇者プロフィール



内山 雄介

神戸大学大学院工学研究科 教授

1998年東京工業大学にて博士（工学）取得。港湾空港技術研究所、カリフォルニア大口サンゼルス校などを経て2011年より神戸大学准教授、2015年より現職。

海洋物理学・海岸工学・計算流体力学を専門とし、様々な海域の海洋デジタルツインの開発を通じて、サンゴ・アマモ生態系ネットワーク構造や海洋プラスチック汚染などの海洋環境に関わる教育・研究に従事。

スーザン・M・ブランダー オレゴン州立大学農学部 准教授

生態毒性学者、EHSアクション・サイエンス・イニシアティブ上級研究員。マイクロプラスチックやナノプラスチック、内分泌かく乱物質、その他の新たな汚染物質、気候変動などのストレス要因が水生および陸生生物に及ぼす発生状況と生物学的影響に焦点を当てた研究を実施。北米環境毒性学・化学学会（SETAC）理事、カリフォルニア州有害物質管理局の諮問機関グリーンリボンサイエンスパネルの委員を歴任。南カリフォルニア沿岸水研究プログラムにおいてマイクロプラスチックに関する助言を行うとともに、国連環境計画（UNEP）のプラスチック汚染に関する条約の策定に向けた政府間交渉のための特別専門家会合にも参画。



アマンダ・フォード

サウスパシフィック大学（フィジー） 上級講師

同大学農学・地理・環境・海洋・自然科学学部海洋科学科の上級講師。2017年にブレイメン大学で博士号を取得し、太平洋諸島のサンゴ礁システムのレジリエンスについて研究。太平洋地域において豊富な研究経験を持ち、サンゴ礁生態学、生態系モニタリング、海洋資源管理を専門とする。現在、APNの助成を受け、科学的知見と地域の知識を統合し、太平洋諸島地域の海洋プラスチック汚染に取り組むプロジェクトを主導している。



会場アクセス

国際健康開発センター（IHDビル）

神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1

- JR 神戸線灘駅より南へ徒歩約 13 分
- 阪神 岩屋駅より南東へ徒歩約 10 分

参加申し込み方法

右の二次元コードにアクセスいただき、参加申込フォームにご記入のうえ送信してください。お申込みいただいた方には自動返信メールが届きます。二次元コードを読み込めない場合や、自動返信メールが届かない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

申込締切 令和7年3月11日（火）



<https://x.gd/EsQBe>

問い合わせ先：アジア太平洋地球変動研究ネットワーク（APN）

ホームページ：<https://ja.apn-gcr.org/>

E-mail：apnseminar@gmail.com

TEL：078-230-8017 FAX：078-230-8018